

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2021年11月17日
派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(2日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	氷川町	代表者名	藤本 一臣		
担当者部署	企画財政課	連絡先電話番号	0965-52-5850		
担当者役職	主事	担当者氏名	上田 洸平	連絡先E-mail	
住所	869-4814 熊本県氷川町島地642番地				

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

団体名		連絡先部署			
担当者氏名		連絡先電話番号		連絡先E-mail	

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	横山 正人
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	DX推進リーダーを対象とした人材育成研修について、研修プログラムの修正提案ならびに最終確認を実施。併せて、事務局ならびに電算担当者より今後のDX推進に関してご相談させていただき、それぞれ助言も頂戴した。
アドバイザーへの要望事項	研修プログラムについては、今年度中に職員が学ぶべき要素を多面的にお話しただける予定のため、事務局としても積極的な参加および理解につなげるよう促したいと思います。オンラインにて実施するため、事務局で適宜フォローできるよう、ご要望あればお知らせください。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2021年11月11日	14時00分	15時00分		60
	派遣形態	支援・助言(オンライン)			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可
------	--------------------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	企画財政課(DX推進事務局)、総務課(電算担当者)	6人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	職員のデジタルリテラシーとDXへの理解が不足していることから、効果的な協議が行えず、各課題への取組も停滞している。	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	自治体DXにおいては職員全員の意識改革が求められることから、まずはDX推進リーダーとして選出された職員を育成し、意識改革の起点としたい。	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	・人材育成研修におけるプログラムの再提案および最終確認 ・DX推進事務局ならびに電算担当者より個別のご相談と、それに対する助言	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	・研修プログラムの確定 ・DX推進事務局および電算担当者の疑問点解消	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	④人材育成のカリキュラムやツールを策定できた
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容(具体的にご記入ください)	特にありません	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 打ち合わせのためアンケート未実施	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるもののリストより選択下さい	③現段階では課題・問題が残っているため未定
事業の最終的な目指す姿	対象者がデジタル技術の動向と自治体DXの全体像を理解していること。また、各課におけるDX推進施策の課題抽出や、デジタル技術を活用した業務の改善提案が行える状態になっていること。	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

